



かがやき

西橋北小学校

学校だより

No.22

平成 23 年 10 月 14 日

授業改善(電子黒板の活用)

(文責:後藤 達人)

「分かる」「楽しい」授業、学び合いのある授業等をめざし、子どもの学習に対する関心・意欲を向上させる一つの手立てとして、ICT(電子機器)を活用した授業を展開しています。以前にも紹介しましたが、今回は、もう少し詳しくお話したいと思います。

右の写真は、3年生の理科の時間の一コマです。昆虫の成長について学習しているところです。チョウ、トンボ、バッタについて、成長の仕方の違いを大きく映し出し、考えさせていきます。



「卵→幼虫→さなぎ→成虫」という完全変態をするチョウと、さなぎの時期がないトンボや、幼虫から成虫に形が変わらないバッタの不完全変態の様子について、電子黒板を使って子どもたちみんなによく見て、よく考えさせています。大きく映し出されているので、違いがはっきりとして、どの子も理解しやすいようでした。ちなみに、映している元のは、理科の教科書で、映している機器は、書画カメラ(教材提示装置)です。

つまり、みんなが使っている教科書を、カメラを使って、テレビの画面に大きく映し出しているということです。こうすることにより、全員が共通の資料で、同時に、分かりやすく、学び合いながら学習することができるのです。



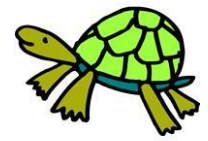
左の写真は、2年生の国語の時間の様子です。この時間は、「お手紙」という物語をみんなで学習していました。電子黒板に映し出されている映像は、みんなと同じ教科書です。でも、ここでは書画カメラは使っていません。

では、どのようにしているのかというと、教科書をデータ化したデジタル教科書をパソコンから電子黒板に送って映像にしているのです。画面上では、線を描いたり、字を書いたりすることもでき、普通の黒板を使っているような感覚で授業を進めることができます。さらに、ページを進めたり、戻ったりすることもできます。

また、朗読の音声も出すことができます。手本となる朗読を聴きながら、自分なりの読み方を学習していきます。同じところを何度でも聴き返すことができるなど、普通のテレビやビデオの使い方とは違って、とても合理的で、効果的です。

子どもたちは、電子黒板を使うと、自然とみんなが前を向き、集中して学習に取り組むことができるようになります。幸いにも、小規模の学校ですので、各階に1台ずつの電子黒板は、本校では、1教室あたりの使用回数は、断然多くなります。しっかりと、効果的に使用し、子どもたちの学びを高めるために工夫された活用をしていきたいと思えます。

命の学習・環境学習・心の学習



ある朝、1匹のカメが死にました。そして、その死んだカメを他のカメが食べていました。子どもたちには、とても残酷な場面に映ったことでしょう。それを見た子は、だれもが近くにいる先生たちに知らせにやってきました。ずっと長い間、一緒に生活してきたカメですから、みんな驚きと悲しみを隠せませんでした。



この日は、全学年で、このカメのことから、学年に応じて、次の3点について学習することにしました。

命の学習

命あるものは、いつかは死にます。だからこそ、生きている今を大切に、輝いて生きることが大事なのです。

環境学習

カメは、雑食性ですので、自然の中では、池や川で様々なものを食べています。小動物や魚などの死骸もカメたちが食べてくれるおかげで、水がきれいに保たれています。普段は目にすることのないところで、地球環境を守ってくれている生き物たちなのです。

心の学習

このカメの例のように、地球上のあらゆるものには、それぞれの使命が与えられ、それぞれが、その役割を果たしてくれているおかげで、地球の営みが成立していると思います。つまり、この世の中には、不要なものは何一つないということです。だれもが、いるだけで役に立っているのです。かけがえのない自分の存在を強く意識し、周りの人や物に優しく思いやることの大切さを知ってほしいと願っています。

ここまで書いてきたら、金子みすずのある詩が思い出されましたので、ここに紹介いたします。

土
こつつん こつつん
打たれる土は
よい畠はたけになつて
よい麦生むよ。
朝から晩まで
踏まれる土は
よい路になつて
車を通すよ。
打たれぬ土は
踏まれぬ土は
要らない土か。
いえいえそれは
名のない草の
お宿をするよ。

四日市市教育委員会から「通学路交通安全施設整備事業について」のお知らせ

市教育委員会では、通学路の危険箇所でのカーブミラー・ガードレール・側溝ふたなどの設置や、横断歩道など路面表示の塗り直しなど、小規模な交通安全施設の整備について、学校から要望を把握し、必要箇所の整備を行っています。通学路整備についてお気づきの点がありましたら、本校までお知らせください。

詳細については、本校または教育委員会教育施設課（電話 354-8243）へお問い合わせください。